

週刊 新社会

発行所：新社会党 発行者：矢田部 理
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-3-7 三建ビル八丁堀6F
TEL. 03 (3551) 3980 FAX. 03 (3551) 6406
振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 郵送料1ヵ月160円

新社会ちば

2000年9月 第13号

発行：新社会党千葉県本部
千葉市中央区新千葉2-1-1新千葉ビル4F
TEL 043-244-6865 FAX 043-244-3860
E-mail sinsya@lily.ocn.ne.jp

参議院千葉選挙区 新社会党 予 定 候補 決まる

おさなみ ひろくに

長南博邦 書記長を公認



参議院千葉選挙区

長南博邦 予 定 候補

略 歴

- 1948年水戸市生まれ、52歳。家族構成は妻、子供は男子2人の4人家族
- 現住所、野田市山崎貝塚町44-3
Tel・Fax 0471-25-2627
- 70年茨城大学卒業、流山市の盛進製菓(株)入社(現在キッコーマン株式会社公務休職中)
- 労働組合委員長を歴任後、86年野田市議会議員に当選、以来連続4期。新社会党千葉県本部書記長
- メールアドレス nsnosa@topaz.ocn.ne.jp

予 定 候 補 者 と な っ た 長南博邦議員は五十二歳。現在、野田市議会議員四期目で、県本部書記長を務めている。

全国的にも党全国自治体議員団会議(議長・松原一夫奈良県議)事務局長として活躍してきた。ふたたび戦争のできる国をめざす動きが強くなり、不要不急の大公共事業での税金の浪費、金持ち・大企業減税などのつげを消費税の大増税でまかなおうとするなど、庶民いじめの政治がまかり通る今日、新社会党として

長南博邦議員は市民と直接触れ合う市議会議員として活動をする中で、「国政の変革なしに地方分権も、市民の安心や幸せもない」と考えてきた。また「排他的な競争社会がもたらしている社会状況をただして、二十一世紀こそ憲法に示された平和と民主主義、基本的人権

第1次公認

- | | |
|-----|-------------|
| 比例区 | 矢田部 理 |
| | 小森 龍邦 |
| 選挙区 | 千葉 常義 (山形) |
| | 高開 千代子 (徳島) |
| | 栗原 君子 (広島) |

分権の時代とし、世界に貢献できる日本とするために全力を尽くしたい」と決意を語る。

現在、千葉県の自民党は現職二人をどのように

新社会党千葉県本部は八月三十一日、千葉市内で臨時大会を開き、来夏の参議院千葉選挙区予定候補者として、県本部書記長の長南博邦・野田市議会議員を決定。新社会党中央本部はこれを受け、比例区を含め六人を第一次公認した。

パソコン駆使する行動派
国政の変革を第一とすることを要する



ノットでやわわい長南君

県本部委員長 上野 建一

今なぜ長南博邦君か。来夏の参議院選挙に勝つて千葉県政と国の政治を革新しなければならぬからです。

森喜朗首相は、「神の国」とか「国体」などの言動によつて、その資質を問われていますが、政治家に必要な資質とは何か。私は①理念であり、②先見性であり、③人間性、であると思います。

先見性は、二十一世紀の世界と日本の政治と経済の方向を見すえての政策・方針を明らかにすることです。すでに長南君は、新社会党と共に、中

長南君の理念は、憲法を大切に、その内容の完全実施を求める言動に現れていると思います。一貫した理念のない人物はやがて世論に切り捨てられます。平和、人権、民主主義、福祉を国民・庶民のために政治・行政によって拡大し、一切の不安を取り除くという事です。

長南君は若さと行動力でこれを実践してきました。

調整するのか、来夏の知事選挙も含め混迷を深めている。新社会党千葉県本部は千葉選挙区必勝のために、広範な団体に共闘を呼びかける。憲法や

教育、景気対策、財政改革、消費税増税が争点となるのは間違いない。県民の支援を願う。真の政治改革を求め全力で頑張る。

趣味

趣味のひとつは花の改良育種。交配して新しい色や形の品種を作り出すこと。これまでジャーマンアイリスや木立ベゴニア、メモカリスなどを手がけた。

二つには音楽鑑賞で、特にイタリアオペラのテノールアリアが好み。

三つにはパソコンで、メールはもちろん、画像処理からレイアウトまでひと通りこなす。このような新聞作りもお手もの。

展望

小企業、農業者、勤労者に百害もたらす巨大資本を中心とする市場競争の第一主義(新自由主義)と対決する政策を皆さんに語り続けています。

庶民と共に進むべきしき、人々の不安を解消する活動に献身する人間性は長南君の身上です。

長南君が庶民と共に前進するとき、世の中は明るい展望を取り戻すことでしょう。(元衆議院議員)

日米安保条約にからむ密約が、米國務省文書から明らかにされた。核持込みに事前協議は不要という内容だ。隠し通す事が「政治」と心得ている政府を持った日本の国民は哀れだ。隠蔽と問題の先送り、ウソの宣伝。そしてバテたら口拭いと責任逃れ、これが自民党の手法のすべてだ。この害悪が社会全体に広がっている。オランダの記者ウオルフレン氏は、著書「日本/権力構造の謎」のなかで、日本ほど責任の所在が不明確な社会はないと述べている。

◆三菱自動車、雪印、警察、医療事故、カルテの隠蔽、原発事故、秘密裏の核燃料運搬、経営実態を隠したままの銀行への税金投入、(そう)、長銀、日債銀の救済、公共投資凍結の基準、大気汚染物質の発ガン性の隠蔽。新幹線コンクリートの腐食。そして政治の汚職。もうやめよう。余りにも多すぎる。◆そして国民の不満は利益誘導で黙らせる。「口利き」政治だ。社会の体質を変えなければ、あつせん利得法も生きまい。教育改革も片腹痛い。

「新社会」(本紙)の購読を
購読料月六百元、郵送料月六十円
※お申し込みは、新社会党本部へ
TEL 043-244-6865

教科書検定に戦前回帰的な意見書

自治体議会で採択させないで

不登校の増大や青少年の衝撃的な事件を口実に、戦争の悲惨さ、悪かきや民主主義を学ばず、「日本が天皇中心の神の国」であることを教え、「戦争のできる日本」をめざす教科書を二〇〇二年から使わせようとする動きが自治体議会を通じて始まっている。

ある。

教科書で皇国史観押し付け

千葉県内の議会に歴史・公民教科書の採択に関する陳情等が集中している。六月議会では八市町村議会が採択されている。県議会ではそのレベルにとどまらず、「教科書検定」に戦前回帰的な注文をつける意見書を自民党等が採択した。

問題は、この動きは必ずしも今までの保守だけではなく、柏市のように民主党議員が議会請願の紹介議員となったり、野田市では社民党議員が賛成していることだ。両市議会とも多数で採択されている。

これは二〇〇二年度から使われる教科書に戦争を賛美する産経新聞社発行の歴史教科書を採択させようとする一大県民運動が動き始めたからである。今年二月に「教科書を良くする千葉県議員連盟」がつくられ、県下いっせいに各議会に陳情・請願を出そうと動き出したためだ。

これらの背景にはすでに九七年から全国的な動きとなった「新しい歴史教科書をつくる会」(以下、つくる会)がある。つくる会は、現在の歴史、公民教科書は慰安婦や南京大虐殺など自虐的な表現が強く、その結果子どもたちが国に誇りを持つことができず、子どもたちが荒れる原因となっていると規定している。

その上で自ら教科書を作り学校教育に利用させようとする動きが自治体議会を通じて始まっている。この結果子どもたちが国に誇りを持つことができず、子どもたちが荒れる原因となっていると規定している。

産経新聞社の教科書は現在検定申請中で宣伝してはならないにもかかわらず、大宣伝を行っている(独禁法違反)。それによると、神話を事実としたり、教育勅語の紹介にとどまらず、太平洋戦争を「大東亜戦争」と記述し、アジア解放戦争だったと評価している。一言でいえば「皇国史観」にたつ教科書

ことあるという。これらの活動の上に教科書採択は各教育委員会の任務だとして、自治体議会に陳情を出して採択させ、教育委員会を縛るといふ権力的な動きに出ている。

千葉県内の景気は全国と同様ほんの一部を除いて悪化している。明らかに自

公保政府の失政である。八月の千葉県内の企業倒産を見ると景気が悪化

している事がわかる。負債額一千万円以上の倒産は昨年同月よりも四十八・五%増の四十九件、負債総額は四百七十七億二千万円で昨年同月の七・四倍である。倒産業種では建設業が一番多く十六件、ついで製造業の十件、卸売業の六件となっている。

六月議会から分裂を続けている自民党県議団は主流派、顧問格の井上裕参議院議員と反主流派のボス浜田幸一元衆議院議員の会談で自民党議員団を「一党二派」に分けることになった。しかし主流派は反主流派を彼らの会派名に「自民党を名乗ることを認めておらず、当分抗争が続くことになる。分裂の原因は自民党県連の役員人事に対する不満・対立、次の知事選と参院選候補の問題といわれている。知事選では沼田知事が「次は候補補しない」との声明をせず、場合によっては出馬しかねないため、いたづらに自民党県議団に疑心暗鬼や不信がつのっている。

自民党県議団が分裂し抗争

進してきた沼田知事も二十一年は長過ぎたということとで統説支持の世論は出ていない。しかし、沼田知事には後継者らしい人物はいない。そのため、「沼田知事はまだやる気だ」という声が自民党内外に出ている。いずれにせよ後継者をめぐって対立が激しくなる。

家永教科書裁判の成果を無にするな

憲法や教育基本法の改悪が仕組まれている現在、日本を再び「戦争のできる国」にするため子どもたちをマインドコントロールしようというもので許せない。

二〇〇二年度から使われる教科書の採択は来年七月であり、権力側からの圧力によって教科書採択が左右されかねない事態が起ころう。現在の教科書の記述は、不当な文部省の検定に対して、家永三郎教授らが歴史の真実を求めて闘った「教科書裁判」の成果である。

自公保政権の失政 相次ぐ倒産、景気回復はウソ

千葉県内の景気は全国と同様ほんの一部を除いて悪化している。明らかに自

公保政府の失政である。八月の千葉県内の企業倒産を見ると景気が悪化

している事がわかる。負債額一千万円以上の倒産は昨年同月よりも四十八・五%増の四十九件、負債総額は四百七十七億二千万円で昨年同月の七・四倍である。倒産業種では建設業が一番多く十六件、ついで製造業の十件、卸売業の六件となっている。

六月議会から分裂を続けている自民党県議団は主流派、顧問格の井上裕参議院議員と反主流派のボス浜田幸一元衆議院議員の会談で自民党議員団を「一党二派」に分けることになった。しかし主流派は反主流派を彼らの会派名に「自民党を名乗ることを認めておらず、当分抗争が続くことになる。分裂の原因は自民党県連の役員人事に対する不満・対立、次の知事選と参院選候補の問題といわれている。知事選では沼田知事が「次は候補補しない」との声明をせず、場合によっては出馬しかねないため、いたづらに自民党県議団に疑心暗鬼や不信がつのっている。



安全軽視、健康をむしばむ JR設備部門外注化に反対

国鉄が分割・民営化され十四年目に入っている。JRでは今でも合理化や部門のメンテナンス体制の再構築と称する「合理化」が提案されようとしており、国労はこれに反対して闘っている。

この事案は、昨年二月二十一日の「山手貨物線事故」での五名の触車死亡事故による見直しのため正式提案できずにいたものだが、ここに来て情勢は切迫している。

この事案の主な内容としては、一つには、保全業務を中心としての全面外注化。二つには、設備職場の統廃合。三つには出向の拡

大。四つ目は、検査周期の延長の改悪等。これらが何をもちらすか。そのことは、すでに外注化している各地方の実態を見れば明らかだ。例えば、北海道の保線機械業務の全面外注化では四連続夜業も発生。山手線の省力化軌道工事でのマルチ(線路道床砂利の突き固め機械)作業の広域出向者では、月十五回の夜業、千葉でも国労以外の労組出向者に三連続夜業や十三連続夜

業が発生しているなら、人間の生理などいささか配慮しない実態、労働条件の破壊が報告されている。そして、それらの結果として二百五十九名にもなる、いわゆる「労災」死亡や「私傷病」死亡、そして脱線事故や線路閉鎖手続き違反等が連続し、健康や安全が脅かされている。さらに問題なのは、その事故責任が、直轄・外注を問わず現場労働者に押しつけられていることだ。

この大「合理化」の真のねらいは、JR社員を大幅削減し、いささかJRとは関係のない安上がりな雇用関係に切り替えることだ。先にも国労組織と運動を残さないことだ。その行き先に対しても、現に他組合から、「国労にいたのでは希望したところに行けない」と脱退策動が始まっている。また、会社の言う「高齢者の雇用の場確保のための業務委託」とは名目に過ぎず、この大量退職期を、「分割民営化時」に匹敵する大「合理化」と国労破壊攻撃の絶好の機会と位置づけていることは間違いない。

そこで国労は、「第二の分割・民営化」攻撃としてとらえ取り組みを強化している。



経済と政治は結合している。経済(不況)の悪化は県政の荒廃をもたらしている。沼田県政も残り半年である。開発第一主義で大企業優先の県政を推

参院選候補も自民党は二人の現有議席を持っており、どちらかをおろす必要がある。倉田寛之、岩瀬三三のうち一人を知事選に廻し来夏の参院選は一人でも作戦が分裂でだめになった。